

第1回秦野市植樹祭

日 時：平成20年5月10日(土) 8:30~12:00

場 所：植樹(横野萩山林道沿い)

記念式典(県立秦野戸川公園多目的グラウンド)

事前整備 (横野地区 萩山林道沿い)



平成20年4月、秦野市植樹祭の植樹会場を菩提生産森林組合の御協力のもと、0.27ha
間伐・整備しました。必要な木を残し、きれいになりました。

受付の様子



植樹祭当日の一般植樹の受付の様子です。あいにくの天気でしたが、約1,000人の参加者が受付をし、植樹会場へと向かいました。

また、受付場所では、TVK「あっぱれ！KANAGAWA大行進」の取材も入りました。

一般植樹の様子



県立秦野戸川公園から徒歩約30分かけて、植樹会場まで向かいました。親子での参加もたくさんありました。



植樹場所に着くと、菩提生産森林組合の皆様の指導により、事前に付けていた目印のところに植樹をしていきました。全部で1,200本の木を植樹しました。

植樹した樹種は、「コナラ」「クヌギ」「イロハモミジ」「イタヤカエデ」「ヤマザクラ」「アカシデ」です。

今回植樹した木は、5年後に二酸化炭素を年間2.6トン吸収します。この量は、札幌から那覇まで自動車が3往復したときのCO2の量とほぼ同じです。

式典の様子



一般植樹終了後、県立秦野戸川公園で、式典を行いました。雨の中、約800人の方にお集まりいただきました。式典では、緑の少年団の山口達朗さん、伊藤彩夜加さんの司会のもと、記念植樹、「はだの一世紀の森林づくり構想」の発表、みどりの少年団の「はだの森林づくりの誓い」などが行われました。

また、式典を盛り上げていただくため、秦野観光和太鼓、オカリナほっと歩夢歩夢、秦野市音楽協会ファンファーレ隊、ステップインオカリナ、秦野総合高校吹奏楽部の皆様に御協力いただきました。

【記念植樹】



式典では、記念植樹を行いました。古谷市長は市の木「コブシ」、福森議長は「ヤマザクラ」、小野副知事は「クヌギ」、国土緑化推進機構石井常務理事は「コナラ」、安藤県議会議員は「イロハモミジ」を植えました。秦野みどりの少年団の皆様にも手伝っていただきました。

【はだの一世紀の森林づくり構想】発表



古谷市長から「はだの一世紀の森林づくり構想」の発表がありました。

秦野市では、森林を市民共有の財産と考えて、50年かけて再生し、さらに50年かけて適正に維持管理することによって、人と自然が共生した秦野らしさのある森林づくりを目指します。

【はだの森林づくりの誓い】



秦野みどりの少年団の門馬尚矢さん(堀小6年)、安部美佑さん(北小6年)が「はだの森林づくりの誓い」を行いました。

秦野の美しい自然を未来にかけて守り、育て、引き継いでいきます。